

### 1. 問題の所在と目指すリテラシーの育成

- ・高校入試に合格したから十分な学力があると言えるのか？ No!
- 就職・進学を控える生徒→**社会を生き抜くためのリテラシー**の育成が必要



ボールは古くので買った。(タ)  
 店で古くボール買った。(ノ)  
 私は昨日店でボールが古くを買った。(ナ)

4月

ヘリコプッタ  
 エリコピテロ



ヘリコップタ

ヘーコポッタ  
 タケコプター



目指すリテラシーの育成

**社会を生き抜くためのリテラシー**  
 自らの社会的・文化的背景を活かして社会  
 参画を果たすことばの運用能力

クリティカル・リテラシー

クリティカル・シンキング

知識・技能

社会に参画するリテラシーへ

機能的リテラシー

### 2. 本校の現状と課題

・応用デザイン、英語コミュニケーションの2学科。2018年度入学生の約70%がCLD生徒（ブラジル/フィリピン/ペルー等）。支援が特に必要な学習者には「現代文」「生物基礎」「現代社会」「保健」を少人数クラスで授業（T講座）。学校設定科目「日本語基礎」2単位。学習言語に困難を感じる生徒多数。話せるが書けない。書けるが話せない。抽象的概念を表す語彙が理解できない、など。

### 3. 理論と実践—知識・技能の修得—

- ・高等学校の学習者に応じた理解方略が必要

暗記

構造理解



なぜそうなるのか？

なぜそうするのいいのか？

溝

購

講



実践事例

テーマ：わかりやすく書く順序とは？—日本語基礎 A（第1学年）の実践から

Q 次の7つのことばをすべて使って、「ペン」という題の簡単な説明文を作りなさい。（2018.6.日本語基礎期末考査）

マジックペン シャーペン 消せる ボールペン えんぴつ ペン 消せない

今世界の中で色々なペンがあります。その中から学性がつかうのはえんぴつ、ボールペン、シャーペン、マジックペンです。えんぴつはふつつの消せるんです。シャーペンもそうですけれと形だけつつとちがうです。ボールペンも今消せるようになってありますけれとふつつのボールペンは消せないです。マジックペンも書けたら消すことができません。

\* 学習者 S（ネパール）の解答

i 考えたこと

なぜわかりにくいのだろう？



語彙？

文法？

文字？

順序

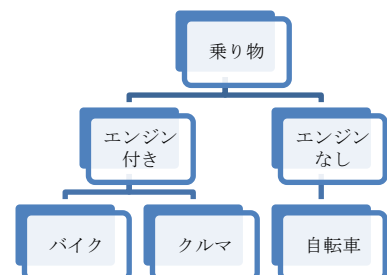
論理的に考え  
 構成する技能

ii 学んだこと

どうすればわかりやすくなるのだろう？

学習方略

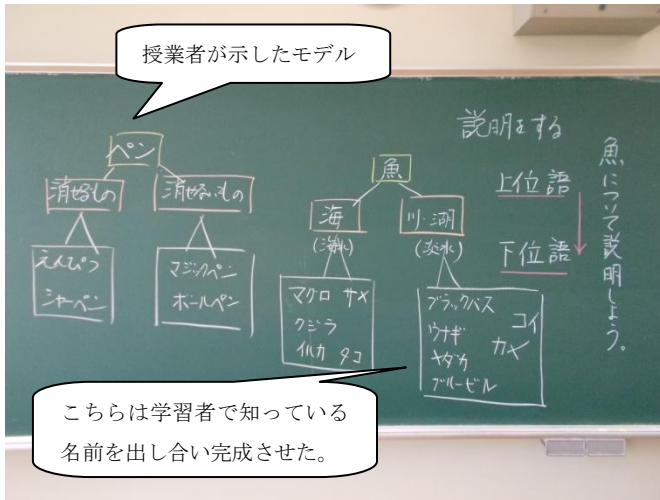
- ① 論理的に考え構成する技能を身につける
  - ・「上位語」「下位語」/「抽象」「具体」を順序立てる。
- ② 短い文を組み立てる技能を身につける。



### iii 実践したこと①～基本～

知識・技能

学習者 D (フィリピン)



授業者が示したモデル

こちらは学習者で知っている名前を出し合い完成させた。

#### 【期末考査の解答】

学校につかわれているどうぐのなかでいろいろなしゅるいのペンやえんぴつがあります。さいしょにはマジックペンとボールペンです。このどうぐは子どもたちもつかうどうぐです。けれど学校にはあんまりつかわないときもあります。なぜならかんじやことばのまちがいがあつたしたら消せないから。けれどシャーペンをつかつたらまちがついていても消せるからべんりです。

#### 【学習後の「魚について説明しよう」解答】(学習者 D)

魚とは海にすんでいるものや湖にすんでいるものがあります。海にすんでいる魚にはマグロやサメやイルカがあります。湖にすんでいる魚にはブラックバスやメダカがあります。

### iv 実践したこと②～応用～

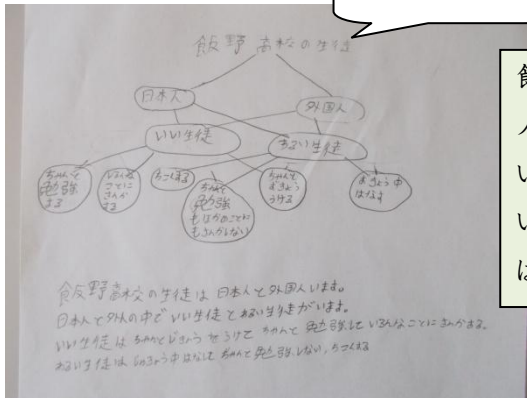
クリティカル・シンキング

説明することを自分たちで決める → 相談、討議

「飯野高校の生徒」に決定!



学習者 S (ネパール)



マッピングの工夫

上位概念から書き始めている

飯野高校の生徒は日本人と外国人います。日本人と外人の中でいい生徒とわるい生徒がいます。いい生徒はちゃんとじゅぎょうを受けてちゃんと勉強していろんなことにさんかする。わるい生徒はじゅぎょう中はなしてちゃんとしない、ちこくする。

日本人にも外国人にも当てはまるという視点

最後に具体的なことがらを書いている

#### 《学習者 S に見られる学習の効果》

- ・上・中・下の概念を整理するため自発的にマッピングしている。
- ・論理的な全体の構成を考え、わかりやすく書こうと工夫している。

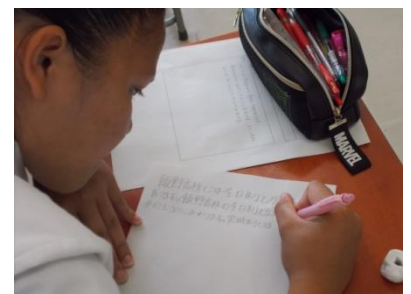
## 4. 成果と課題

#### 《成果》

- ・論理的な思考力の育成、またその活用によって文章をわかりやすく構成する技能が身についた。

#### 《課題》

- ・マクロな指導とミクロな指導をどう融合するか。
- ・クリティカル・リテラシーの涵養をどのように進めていくか。



《参考文献》

- ・今井むつみ（2010）『ことばと思考』岩波書店
- ・カミンズ・ジム〈中島和子訳〉（2011）『言語マイノリティを支える教育』慶應義塾大学出版会
- ・小柳正司（2010）『リテラシーの地平—読み書き能力の教育哲学』大学教育出版
- ・佐藤慎司・高見智子・神吉宇一・熊谷由理 編（2015）『未来を創ることばの教育をめざして—内容重視の批判的言語教育（Critical Content-Based Language Instruction）の理論と実践』ココ出版
- ・酒井雅子（2017）『クリティカル・シンキング教育—探究型の思考力と態度を育む』早稲田大学出版部
- ・澤口哲弥（2015）「国語科におけるクリティカル・リーディングについての考察—C.Wallace の理論を中心に」広島大学大学院教育学研究科紀要，第一部，第 64 号，pp.57-66
- ・白井恭弘（2013）『ことばの力学—応用言語学への招待』岩波書店
- ・鈴木健・大井恭子・竹前文夫（2006）『クリティカル・シンキングと教育—日本の教育を再構築する』世界思想社
- ・竹川慎哉（2010）『批判的リテラシーの教育—オーストラリア・アメリカにおける現実と課題』明石書店
- ・浜本純逸 監修 田中宏幸 編（2016）『中学校・高等学校「書くこと」の学習指導』溪水社
- ・ハヤカワ.S.I〈大久保忠利訳〉（1985）『思考と行動における言語 原書第四版』岩波書店
- ・フレイレ・パウロ〈小沢有作・楠原彰・柿沼秀雄・伊藤周訳〉（1979）『被抑圧者の教育学』亜紀書房
- ・本多勝一（2015）『新版 日本語の作文技術』朝日新聞出版
- ・渡辺雅子（2004）『納得の構造—日米初等教育に見る思考表現のスタイル』東洋館出版社
- ・Macknish,C.J.(2011)*Understanding Critical Reading in a ESL Class in Singapore*. TESOL Journal.
- ・Wallace,C.(2003) *Critical Reading in Language Education*. New York : Palgrave Macmillan.